

## 講師略歴（敬称略）

※随時更新いたします

### 木村 廣道（東京大学大学院薬学系研究科 客員教授）

東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了（薬学博士）、スタンフォード大学大学院ビジネススクール修了（MBA）。協和発酵、モルガン銀行を経て、アマシヤムファルマシアバイオテック(株)代表取締役社長、日本モンサント(株)代表取締役社長を歴任。

2002年より東京大学大学院薬学系研究科ファーマコビジネス・イノベーション教室特任教授、2016年4月より客員教授(現職)。2013年より文部科学省「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」拠点COINSプロジェクト統括。

(株)ライフサイエンスマネジメント 代表取締役、(株)ファストトラックイニシアティブ 代表取締役、および一般社団法人 医療産業イノベーション機構 理事長を兼務。経済同友会幹事、日本スタンフォード協会理事を務める。

### 玉田 耕治（山口大学大学院医学系研究科・免疫学講座 教授）

1992年九州大学医学部卒業、1998年同大学大学院医学研究科外科系専攻修了。医学博士。平成6年に九州大学大学院入学後、米国での10年以上にわたる研究も含めて、現在まで一貫してがんに対する免疫療法の研究・開発に取り組む。米国ではジョーンズホプキンス大学医学部およびメリーランド州立大学医学部にてPrincipal Investigator（主任研究者）として研究室を主宰。平成23年より山口大学医学部免疫学教授として着任。原著論文100報以上。研究内容はPD-L1などの免疫チェックポイント分子の同定と機能解析、およびCAR-T細胞療法の技術開発など。日本がん免疫学会理事、日本バイオセラピー学会理事、日本免疫治療学研究会理事、日本癌学会評議員、NPO 健康医療開発機構理事、Cancer Science Associate Editor、Cancer Immunology Immunotherapy Editorial Board Member。

### 近藤 直人（株式会社理研ジェネシス 代表取締役社長）

名古屋大学大学院農学研究科博士課程修了（農学博士、生物有機化学専攻）、1984年日本臓器製薬株式会社入社。その後、日本分光株式会社、横河アナリティカルシステムズ株式会社（現アジレント・テクノロジー）を経て、2006年2月より、イルミナ株式会社にてアジアエリアのマーケティングを担当する。2007年1月にイルミナ株式会社の代表取締役に就任。2012年1月、理化学研究所に入所し、次世代シーケンサー等のラボ運営のマネジメントに従事。その間、国際研究コンソーシアムである FANTOM5/6プロジェクトの推進に貢献。2016年6月より、現職。

### **伯野 春彦（厚生労働省大臣官房厚生科学課 医療イノベーション企画官）**

平成8年慶應義塾大学医学部卒業、平成8年慶應義塾大学病院内科、平成10年国立療養所東埼玉病院、平成11年大田原赤十字病院、平成12年慶應義塾大学病院呼吸器内科、平成15年杉並保健所保健予防課、平成17年厚生労働省健康局結核感染症課 予防接種専門官、平成18年広島県健康対策室長、平成20年国立がんセンターがん対策情報センター、平成21年厚生労働省疾病対策課課長補佐、平成22年厚生労働省大臣官房厚生科学課課長補佐、平成23年厚生労働省医薬食品局血液対策課、平成24年岡山県保健福祉部長、平成27年厚生労働省医政局地域医療計画課医師確保等地域医療対策室長、在宅医療推進室長、平成29年厚生労働省大臣官房厚生科学課 医療イノベーション企画官

### **濡木 理（東京大学大学院理学系研究科生物化学専攻 教授）**

1988年東京大学理学部生物化学科卒業、1990年東京大学大学院理学系研究科生物化学専攻修士課程修了、1993年東京大学大学院理学系研究科生物化学専攻博士課程修了 博士（理学）。1992年日本学術振興会特別研究員DC2、1993年日本学術振興会特別研究員PD（蛋白質工学研究所）、1994年理化学研究所基礎科学特別研究員、1995年東京大学大学院理学系研究科生物化学専攻 助手、2002年東京大学大学院理学系研究科生物化学専攻 助教授、2003年東京工業大学大学院生命理工学研究科生命情報専攻 教授、2008年東京大学医科学研究所基礎医科学部門 教授 2010年東京大学大学院理学系研究科生物化学専攻教授、現在に至る。平成11年日本結晶学会進歩賞、平成17年手島工業教育資金団手島記念研究賞、平成19年手島工業教育資金団手島記念研究賞、平成19年文部科学大臣表彰科学技術賞（研究部門）、平成20年日本学術振興会賞、平成21年21年度持田記念学術賞、平成22年 第18回木原記念財団学術賞、平成23年第27回井上學術賞、平成23年平成23年度日本結晶学会学術賞、平成26年2013年度上原賞受賞

### **花園 豊（自治医科大学先端医療技術開発センター センター長・教授）**

1986年東京大学医学部医学科卒業、1992年東京大学大学院医学系研究科修了。博士（医学）。1993年東京大学医学部第3内科助手、1995年－1998年アメリカ国立衛生研究所(NIH)客員研究員、1998年自治医科大学講師、2003年同大学助教授、2007年同大学教授、2015年同大学先端医療技術開発センター・センター長。専門は、血液内科学・再生医学・実験動物学。iPS細胞など幹細胞やゲノム編集技術の臨床応用を目指して、大型動物（サル・ブタ・ヒツジ）を用いてマウスからヒトへの橋渡し研究を進めている。

### **内田 恵理子（国立医薬品食品衛生研究所遺伝子医薬部室長）**

1983年東京大学薬学部薬学科卒業、1985年東京大学大学院薬学系研究科生命薬学専門課程修士課程修了、1991年薬学博士(東京大学)。1985年国立衛生試験所（現・国立医薬品食品衛生研究所）研究員、1993年同主任研究官、1995-1996年ハーバード大学医学部特別研究員、1998年国立医薬品食品衛生研究所遺伝子治療薬担当室長、2007-2009年厚生労働省大臣官房厚生科学課併任（遺伝子治療臨

床研究審査担当)、2014年より現職。専門は遺伝子治療のレギュラトリーサイエンス。厚生労働省の遺伝子治療臨床研究に関する審査委員会委員、遺伝子治療等臨床研究に関する指針の見直しに関する専門委員会委員等を務める。日本遺伝子細胞治療学会理事。

#### **尾道 一哉 (味の素株式会社 常務執行役員)**

1982年 東京大学農学部農芸化学科卒業、1984年東京大学大学院農学系研究科農芸化学専門課程修士課程修了、1988年農学博士(東京大学) 2002年経営学修士(MBA) (Cass Business School, City, University of London)。1984年味の素株式会社入社、中央研究所研究員、1998年 Ajinomoto Europe Sales GmbH ロンドン事務所長、1999年 Ajinomoto Pharmaceuticals Europe Limited 副社長、2003年味の素株式会社医薬部予算管理グループ長 兼 医薬企画部経営戦略グループ長、2004年同社人事部専任部長、2007年同社ライフサイエンス研究所所長、2010年同社イノベーション研究所フロンティア研究所所長、2011年 同社執行役員イノベーション研究所フロンティア研究所所長、2013年同社常務執行役員研究開発企画部長、2017年同社常務執行役員 イノベーション研究所所長(現在に至る)

#### **田中能之 (デュポン株式会社 代表取締役社長)**

1982年東京大学大学院 理学系研究科 化学専攻修士課程 卒業、デュポンファースト日本支社(現デュポン株式会社)入社、1994(平成6)年 エレクトロニクス事業部 回路基板材料部 企画・開発部長、1999(平成11)年5月 デュポン iテクノロジー事業部 事業部長 兼アジア太平洋地域 高機能材料事業リージョナルビジネスディレクター、2001(平成13)年3月 デュポン株式会社取締役、2001(平成13)年12月 米国デュポン社 iテクノロジー事業部 回路基板材料事業、グローバル ビジネス ディレクター、2006(平成18)年7月 デュポン アジア パシフィック リミテッド、デュポン エレクトロニックテクノロジー 高機能材料事業 グローバル ビジネス ディレクター、2009(平成21)年5月 デュポン アジア パシフィック リミテッド、デュポン エレクトロニクス&コミュニケーションズ 半導体製造材料事業 グローバル ビジネス ディレクター、2013(平成25)年 1月 デュポン株式会社 代表取締役社長(現在に至る)、2016(平成28)年10月 デュポン・スペシャルティ・プロダクツ株式会社 代表取締役社長(現在に至る)、デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社 代表取締役に就任、2017(平成29)年7月 デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社 代表取締役社長に就任

#### **松本 毅 (健康”生き活き羅針盤”リサーチコンプレックス推進プログラム 事業化グループディレクター (株式会社ナインシグマ・ジャパン 副社長))**

大阪ガス株式会社にて、凍結粉碎機の開発・事業化や薄膜センサー等の研究開発に従事した後、基盤研究所・研究企画リーダー、技術企画室課長、人事部・担当部長、オープン・イノベーション担当部長、オープン・イノベーション室長を歴任。日本初の MOT スクールを設立し、技術発の事業創出のプロフェ

ッショナルとして人材育成・インフラ整備を推進。2016年4月より現職にて、日系企業を中心にオープンイノベーション事業を立ち上げる支援を担う。

#### **鳥越 慎二（株式会社アドバンテッジ リスク マネジメント 代表取締役社長）**

東京大学経済学部経済学科卒業（経営管理専攻）。ノースウエスタン大学ケロッグ経営大学院修了（MBA 経営学修士号取得）。卒業後、外資系戦略コンサルティング会社ベイン・アンド・カンパニーにて保険・金融を始め、様々な業界を対象としたコンサルティング業務に従事。1994年株式会社アドバンテッジパートナーズ・パートナーに就任。翌年、株式会社 アドバンテッジ インシュアランス サービスを設立、同社代表取締役社長に就任。1999年株式会社アドバンテッジ リスク マネジメントを設立。著書に、『就業不能―「働けないリスク」に企業はどう向き合うか』（ダイヤモンド社） 『メンタリティマネジメント～社員のストレスをモチベーションに変える方法～』（東洋経済新報社）がある。

#### **浜口伝博（産業医科大学 産業衛生教授、ファームアンドブレイン（有）取締役）**

産業医科大学医学部卒業、医師・医学博士。病院勤務後、(株)東芝（1985-1995：本社安全保健センター産業医）および日本 IBM(株)（1996-2005：統括産業医、産業保健部長、アジアパシフィック産業医）にて勤務。その後、開業型の産業医となり、複数の大手企業にて統括産業医を担当している。過去、日本産業衛生学会理事、日本産業精神保健学会理事、東京都医師会産業保健委員等を通して後続産業医の育成事業にかかわったが、現在も日本産業衛生学会「産業医プロフェッショナルコース」の企画運営委員長として専門産業医の育成に取り組んでいる。現在のその他活動：慶應義塾大学医学部非常勤講師、順天堂大学医学部非常勤講師、東海大学医学部非常勤講師。1999年 第1回土屋健三郎記念「産業医学推進賞」受賞、2002年 第14回日本産業衛生学会奨励賞受賞、2006年中央労働基準局長賞受賞、2008年 iSUC（アイザック）最優秀講師 Gold 受賞。著書に「職場のメンタルヘルス問題にどのように対処すべきか」日本臨床（2017）、「Q&A ストレスチェック」実施ガイド 清文社（共著）（2015）、展望「産業医の構造的変革」：健康開発（2015）、「産業医ストラテジー」バイオコミュニケーションズ（監修）（2013）、「メタボリックシンドロームディクショナリ」診断と治療社（2009）、産業医・産業保健スタッフのための「特定健診・特定保健指導のQ&A」（単著）（2008）等多数。

#### **西野精治（スタンフォード大学医学部精神科教授、同大学睡眠生体リズム研究所（SCN ラボ）所長）**

1982年大阪医科大学卒業（M.D.）、1982年大阪医科大学にて医学博士（Ph.D）取得。1987年、当時在籍していた大阪医科大学大学院からスタンフォード大学医学部精神科睡眠研究所に留学。突然眠りに落ちてしまう過眠症「ナルコレプシー」の原因究明に全力を注ぐ。1999年にイヌの家族性ナルコレプシーにおける原因遺伝子を発見し、翌2000年にはグループの中心としてヒトのナルコレプシーの主たる発生メカニズムを突き止めた。2005年にSCN ラボの所長に就任。1987年に渡米以来、30年に渡り、

睡眠・覚醒のメカニズムを、分子・遺伝子レベルから個体レベルまでの幅広い視野で研究している。睡眠啓蒙本「スタンフォード式 最高の睡眠」が27万部のベストセラーとなる。

#### **武田俊彦（厚生労働省医政局長）**

1983年東京大学法学部卒業。1983年4月厚生省大臣官房人事課、1990年日本貿易振興会本部海外事業部付（ジェットロ・ニューヨーク・センター勤務）、1997年北海道保健福祉部高齢者保健福祉課長、2000年厚生省大臣官房政策課企画官、2002年厚生労働省保険局医療課保険医療企画調査室長、2004年社会保険庁運営部医療保険課長、2006年厚生労働省医政局経済課長、2008年厚生労働省保険局国民健康保険課長、2009年厚生労働省医政局政策医療課長、2010年厚生労働省保険局総務課長、2011年厚生労働省参事官（併：政策統括官付社会保障担当参事官室長）、2012年消防庁審議官、2014年厚生労働省大臣官房審議官（医療保険担当）、2015年厚生労働省政策統括官（社会保障担当）、2016年厚生労働省医薬・生活衛生局長、2017年厚生労働省医政局長（現職）

#### **渡部 眞也（株式会社日立製作所 執行役常務 ヘルスケアビジネスユニット CEO）**

1982年東京大学大学院(工学系研究科)修了、1991年マサチューセッツ工科大学経営学修士(Management of Technology)。1982年株式会社日立製作所入社、2007年情報・通信グループエンタープライズサーバ事業部長、2009年日立グローバルストレージテクノロジーズ社(米国法人)取締役チーフストラテジスト、2011年理事/情報・通信システム社CSO、2012年執行役常務/情報・通信システムグループ情報・通信システム社CSO、2014年執行役常務/日立アメリカ社取締役社長/日立インフォメーションアンドテレコミュニケーションシステムズ グローバルホールディング社取締役会長兼CEO、2015年執行役常務/ヘルスケアグループ長兼ヘルスケア社社長、2016年より現職。2013年より国立情報学研究所運営会議委員、2017年より一般社団法人日本医療機器産業連合会 会長を務める。

#### **杉本 真樹（医師、医学博士。国際福祉大学大学院 医療福祉学研究科 准教授。株式会社 Mediaccel 代表取締役 CEO。Holoeyes 株式会社取締役 COO）**

1996年 帝京大学医学部卒業。専門は外科学。国立病院機構東京医療センター外科、米国カリフォルニア州退役軍人局 Palo Alto 病院客員フェロー、神戸大学大学院医学研究科消化器内科 特務准教授を経て現職。医用画像解析、手術支援システム、3Dプリンターによる生体質感造形など医療・工学分野での研究開発や科学教育、若手人材育成を精力的に行っている。また医療・教育・ビジネスなどの多分野にてプレゼンテーションセミナーやコーチングを多数開催。2014年 Apple 社 Webにて世界を変え続けるイノベーターに選出。産業技術総合研究所情報技術研究部門外来研究員、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）採択審査員、特許庁特許出願技術動向調

査策定委員・科学技術研究所アドバイザー、日本医療研究開発機構 (AMED) 研究評価委員も勤める。TED 翻訳者および各地の TEDx イベントでスピーカーやアドバイザー、コーチングを行っている。日本外科学会専門医・認定登録医・日本消化器内視鏡学会専門医・日本内視鏡外科学会技術認定取得者。帝京大学医学部医療情報システム研究センター客員教授、千葉大学フロンティア医工学センター特別研究准教授、神戸大学大学院医学研究科消化器内科客員准教授、崇城大学客員教授を兼任する。

**松尾豊 (東京大学大学院 工学系研究科 技術経営戦略学専攻 グローバル消費インテリジェンス寄付講座 特任准教授)**

1997 年 東京大学工学部電子情報工学科卒業。2002 年同大学院博士課程修了。博士 (工学)。同年より、産業技術総合研究所研究員。2005 年 8 月よりスタンフォード大学客員研究員を経て、2007 年より、東京大学大学院工学系研究科総合研究機構／知の構造化センター／技術経営戦略学専攻准教授。2014 年より、東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略学専攻 グローバル消費インテリジェンス寄付講座共同代表・特任准教授。専門分野は、人工知能、ウェブマイニング、ビッグデータ分析。人工知能学会からは論文賞 (2002 年)、創立 20 周年記念事業賞 (2006 年)、現場イノベーション賞 (2011 年)、功労賞 (2013 年) の各賞を受賞。人工知能学会学生編集委員、編集委員を経て、2010 年から副編集委員長、2012 年から編集委員長・理事。2014 年より倫理委員長。

**河内 賢二 (ニューハート・ワタナベ国際病院 理事長)**

1985 年東京医科大学卒業、1989 年同大学大学院医学研究科単位取得。1989 年東京医科大学病院外科第 2 講座助手。1993 年東葛クリニック病院心臓血管外科派遣。1995 年河内循環器クリニック院長。2007 年東京医科大学病院心臓外科兼任准教授。2009 年金沢大学医学部非常勤講師。2010 年学校法人東京医科大学評議員。2010 年医療法人社団東京医心会理事長。2010 年社団法人日本心・血管予防会評議員。2014 年ニューハート・ワタナベ国際病院開院。

**鈴木 康裕 (厚生労働省医務技監)**

昭和 59 年慶応義塾大学医学部卒業、同年厚生省入省。平成 10 年世界保健機関派遣、平成 17 年医政局研究開発振興課長、平成 21 年厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部事務局次長、平成 22 年保健局医療課長、平成 24 年防衛省衛生監、平成 26 年厚生労働省大臣官房技術総括審議官、平成 27 年 (併) グローバルヘルス戦略官、平成 28 年 6 月厚生労働省保険局長、平成 29 年 7 月より現職。

**花館 忠篤 (アステラス製薬株式会社 経営企画部 課長)**

東北大学大学院・応用生命科学・修士課程修了。

2001 年、アステラス製薬株式会社に入社。化学研究所にてメディシナルケミストリーを専門として創薬研究に従事。在職中、創薬研究成果によって博士号取得（農学博士）

2013 年、製品戦略部、2014 年、エボルビング・メディカルソリューション部を経て 2016 年、現職の経営企画部にて新たな機会の創出に携わる。

**清野 宏（東京大学医科学研究所 感染・免疫部門 炎症免疫学分野 教授、国際粘膜ワクチン開発研究センター センター長）**

1977 年日本大学松戸歯学部歯学科卒業、1977 年アラバマ大学バーミングハム校メディカルセンター微生物学教室ポストドクトラルフェロー、1983 年アラバマ大学バーミングハム校メディカルセンター医学系大学院博士課程修了、1984 年アラバマ大学バーミングハム校メディカルセンター研究・臨床助教授、1986 年マックスプランク生物学研究所 感染症部門客員上級研究員、1989 年アラバマ大学バーミングハム校メディカルセンター准教授 1991 年アラバマ大学バーミングハム校メディカルセンター教授、1994 年大阪大学微生物病研究所教授、2002 年-現在東京大学医科学研究所教授、2005 年東京大学医科学研究所感染・免疫部門長、2007 年東京大学医科学研究所副所長、2011 年東京大学医科学研究所所長、2011 年-現在東京大学医科学研究所粘膜ワクチン開発研究センターセンター長、2015 年-現在千葉大学大学院医学薬学府 国際粘膜免疫・アレルギー治療学研究 特任教授、2016 年-現在独立行政法人日本学術振興会学術システム研究センター主任研究員。

受賞歴多数

**Greg Behar, Nestlé Health Science SA Chief Executive Officer**

Greg obtained a Master of Science in Mechanical Engineering and Manufacturing from the EPFL, near Lausanne, coupled with an MBA from INSEAD in France.

Greg started his career in 1993 in an Engineering company in Switzerland and joined Nestlé in 1995 in Brazil and Switzerland before working at Novartis Pharma in Spain and at global headquarters in Switzerland. In 2010, he joined Boehringer Ingelheim where he was responsible for various regions and for the Cardiovascular and Metabolic franchise. In 2011, he was appointed President & CEO of Boehringer Ingelheim Pharmaceuticals, Inc. in the USA.

On 1<sup>st</sup> October 2014, Greg was appointed CEO for Nestlé Health Science SA, a wholly-owned subsidiary of Nestlé SA. Nestlé Health Science aims to offer nutritional therapies that change the way we approach the management of people's health. He is also a Board member of Accera, Inc. (USA), of Seres Therapeutics, Inc. (USA), of Axcella Health Inc. (USA) and of Aimmune Therapeutics, Inc. (USA); Chairman of the Board of Nutrition Science Partners, a member of the Steering Committee of the Nestlé Institute of Health Sciences (Switzerland).

**岡部 信彦（川崎市 健康安全研究所 担当理事 所長）**

昭和 46 年 東京慈恵会医科大学卒業。

同大学小児科で研修（本院、青戸病院）後、帝京大学小児科助手、慈恵医大小児科助手。神奈川県立厚木病院小児科、都立北療育園小児科など勤務

昭和 53-55 年 米国テネシー州バンダービルト大学小児科感染症研究室研究員

帰国後、国立小児病院感染科医員、神奈川県衛生看護専門学校付属病院小児科部長

平成 3 年-平成 7 年 世界保健機関(WHO) 西太平洋地域事務局（フィリピン・マニラ市）伝染性疾患予防対策課課長

平成 7 年 慈恵医大小児科助教授（慈恵医大第三病院小児科）

平成 9 年 国立感染症研究所感染症情報センター・室長

平成 12 年 同上感染症情報センター長

平成 24 年 川崎市衛生研究所・所長

平成 25 年 川崎市健康安全研究所（名称変更）所長

**中山 哲夫（北里大学 北里生命科学研究所 教授）**

1976 年 慶応義塾大学 医学部 卒業、1976 年 慶應義塾医学部 小児科学教室 入局

1978 年 東京都済生会中央病院 小児科 勤務、1992 年 北里研究所 ウイルス部 入所

2001 年 北里生命科学研究所 ウイルス感染制御 I 教授、2010 年 北里生命科学研究所 所長

2016 年 北里生命科学研究所 特任教授

**菊地 主税（ファイザー株式会社 研究開発部門 薬事統括部長）**

東京理科大学 薬学部 薬学研究科修了後、アップジョン社入社、薬事担当

2001 年 現ファイザー株式会社 開発薬事部に転職

2013 年 ワクチン・リサーチ部に異動し、ワクチン開発、プレベナーの承認申請に携わる

2015 年 2 月から現職

**土屋 了介（地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 前理事長）**

昭和 45 年 慶應義塾大学 医学部 卒業

昭和 45 年 日本鋼管病院 外科

昭和 54 年 国立がんセンター病院 外科医員

平成 14 年 国立がんセンター病院 副院長

平成 18 年 国立がんセンター中央病院 病院長

平成 22 年 財団法人癌研究会 顧問

平成 23 年 公益財団法人がん研究会 理事

平成 25 年 神奈川県 顧問（政策推進担当）

平成 26 年～平成 30 年 3 月 7 日 地方独立行政法人神奈川県立病院機構 理事長

現在参加している政府の審議会・研究会等：内閣府 特区評価委員

**望月 友美子（公益財団法人日本対がん協会参事）**

東京大学薬学部卒業、慶應義塾大学医学部卒業、慶應義塾大学医学研究科博士課程修了（医学博士）  
がん研究振興財団リサーチレジデント、国立がんセンター研究所疫学部研究員、国立公衆衛生院公衆衛生行政学部主任研究官、国立保健医療科学院研究情報センター情報デザイン室長、世界保健機関（WHO）タバコフリーイニシアチブディレクター、世界保健機関（WHO）事務局長補・特別顧問（パートナーシップと国連改革）、国立がん研究センターがん対策情報センターたばこ政策支援部長、アニコムホールディングス株式会社経営企画部を経て、2016年11月より現職

**石井 哲郎（日本たばこ産業株式会社 たばこ事業本部 渉外企画室 戦略担当部長）**

1989年3月 東京大学法学部 卒業  
1989年4月 日本たばこ産業株式会社 入社  
2009年7月 同社 たばこ事業本部 ブランド企画部長  
2011年7月 同社 たばこ事業本部 科学渉外部長  
2012年7月 同社 たばこ事業本部 社会環境推進部長  
2015年4月 同社 たばこ事業本部 渉外企画室 戦略担当部長、現在に至る

**村上 恭子（フィリップモリスジャパン合同会社 コーポレート アフェアーズ ヘルスアウトカムリサーチ RRP マネジャー）**

1997年鳥取大学医学部医学科卒業（医師免許取得）  
2001年東京大学大学院医学系研究科博士課程修了（医学博士）  
ポストドクトラルフェロー（ウイルス肝炎研究財団）及び厚生労働技官（厚生労働省国立感染症研究所）として、C型肝炎ウイルスを中心とした基礎研究に従事  
2009年4月、MSD株式会社入社。主に安全性部門にて、ワクチン、インターフェロン等の生物学的製剤を中心とした安全性評価やリスクマネジメントプランの立案、実行等に従事  
2016年4月にグラクソスミスクライン株式会社に入社、MA部門免疫炎症・感染症部門にて、アレルギー・自己免疫疾患領域製品の戦略立案に医学的側面より参画  
2017年11月より、フィリップモリス ジャパン合同会社にて、加熱式たばこのヘルスアウトカムサーチ等を担当